



Tabletop実験全体紹介

難波俊雄（素粒子物理国際研究センター）

Tabletop 実験班のコンセプト

基本的に一人一テーマ

- **自分自身の**プロジェクト
自分のペースでできる!
- 企画、設計、製作、測定、解析**すべて**できる
研究者としての経験をつめる!
- 数年の短期間で**物理的成果**を上げる
論文という目に見える実績が挙げられる!
(当たればでかいが、外れても論文は書ける)



LHC実験 ⇔ Tabletop実験

掛け持ち/テーマ替えも可

例えば修士:Tabletop → 博士:LHC

理学部1号館10階



安田講堂

2

Zoomですが、
ラボに来たつもりで

総長はこの辺に生息



3

エレベーターを
降りるとこんな
感じ

4

コロナで人が居ませんが、居室

- 浅井研+素粒子センター
- 学生の大部屋(20人くらいの部屋)
- 1人1卓
- 実験/研究室の区別なしに配置
- 各人ノートPC支給

10階の実験室

- 10階に実験室3室
- (写真はいちばんきれいな部屋)
- 検出器や電気回路のテストなど
- 装置の加工、組み立てなど



6

地下2階の 実験室

パルス磁石とレーザーを使って、
「真空」を探る実験

いろいろなところで実験

海外
中性子施設(グルノーブル)



ミリ波施設
(福井大)



陽電子施設
KEK・産総研(つくば)



放射光施設
(兵庫県)



超伝導センサー
(理研和光)

旅費は全額支給
数日～数週間滞在して実験
実験で必要であれば拠点開拓



東大
(理1号館・浅野)

個別の実験の様子はその後紹介

- OVAL実験紹介
- ポジトロニウム実験紹介
- 放射光施設を使った実験紹介
- 中性子を使った実験紹介
- 偽物BH映像